

題材：「HELLOスポンジモンスター」評価規準と支援

【関】：関心・意欲・態度 【発】：発想や構想の能力 【技】：創造的な技能 【鑑】：鑑賞の能力

時配 (時)	主な学習活動	学習活動における具体的な評価規準(評価資料)	評価基準及び評価後の支援( )		
			A(十分に満足)	B(おおむね満足)	C(努力を要する)
1 2	スポンジ星のモンスターの話を聞き、スポンジを組み合わせて胴体をつくる。	【関】 どんな作品にしたいかイメージをもち、2つのスポンジを工夫して組み合わせ胴体をつくる。 (活動の様子、胴体までつくった作品)	モンスターについてのイメージを膨らませ、スポンジを曲げたり捻ったりして胴体を作る。	スポンジを曲げたり捻ったりして胴体を工夫して作る。 目の位置を確認させどんなモンスターになるかをイメージさせる。	スポンジを組み合わせて接合している。  スポンジを曲げたり捻ったり縮めたりさせることでモンスターの全体像をイメージさせる。
3 4	キューブきっずを使ってスポンジモンスターのアイデアスケッチをする。	【発】 胴体の画像を基にして自分なりに体形を変えたり手や足などの部分を付け加えたりしてアイデアスケッチを描くことができる。 (活動の様子、ワークシートの記述)	胴体の画像を基にスポンジの特徴を考え、手足などを付け加えたり、色を変えたりしてアイデアスケッチを描くことができる。	胴体の画像を基に手足などを付け加えたり、色を変えたりしてアイデアスケッチを描くことができる。 手足などの形、その部分の色など立体になった時のイメージを想像させアイデアスケッチを描かせる。	胴体の画像を基に単純に手足を付け加えている。  手足の指の数、爪、大きさなどに着目させ自分らしく描けるように支援する。
5 6 7	アイデアスケッチを基に、制作する。	【技】 アイデアスケッチを基に色や形を考え胴体を変形したり手足などを付けたりすることができる。 (活動の様子、ワークシートの記述)	アイデアスケッチを基に、胴体を変形したり、部品をしっかりと付けたり思いついたアイデアを取り入れたりして、制作することができる。	アイデアスケッチを基に胴体を変形したり、部品をしっかりと付けたりすることができる。 針金、鋏、接着剤の使い方などの技能面での支援をする。	表現することが分からず、活動が停滞している。  アイデアスケッチで制作しようと思っていたことを再認識させ、技能面の支援もする。
8	自他の作品を鑑賞する。	【鑑】 自分の作品のよさを認識し、友達作品のよさを見付けることができる。 (活動の様子、ワークシートの記述)	自分の作品のよさを友達に伝え、友達作品のよさを3つ以上見付けることができる。	自分の作品のよさを見付け、友達作品のよさを見付けることができる。 教室を歩き回らせたり、作品とアイデアスケッチを比較させたりすることでよさに気付かせる。	友達作品のよさを見付けられない。  体全体、手足などの部分などに視点を与え、作品を見るように促す。